



大樹のこころ

待ってます

1年間で保健室の最大のイベント。それは就学時健康診断です。来年度1年生として入学してくる園児を対象に健康診断を行い、それとコラボして保護者を対象に入学説明会を実施します。在校児童とは特段の関わりがありませんが、学校としては大きな「行事」との位置づけにあります。

12時を過ぎると、園児たちが保護者とともに続々と来校してきました。その様子を見ていると、とても嬉しそうです。新たな生活の場となる小学校に、希望を抱いていることが伝わってきます。体育館に入ると、安全帽のサイズ合わせが始まります。いろいろなサイズの安全帽を試着する様子は、とても楽しそう。また保護者は拡大された学区地図の中から自宅を探し、そこにシールを貼っていきます。この地図は入学後に下校グループを作成するために必要となってくる重要なものです。受付を待つ列には、現在本校に在籍している児童の姿も。弟や妹の健診に付き添いで来ているのです。3年生の子に「大樹寺小のことを妹に教えてあげてよ」と声をかけると、笑顔で頷いてくれました。

園児たちが健診を受けている間に、保護者を対象に教育講演会と入学説明会が行われました。今年の講演会は岡崎女子大学教授の白垣潤先生による「就学後の学校生活を支える家庭教育」についてのお話です。子育て真っ最中の保護者の皆様にとって具体的で参考となる内容で、有意義な講演会となりました。中でも「親の言うことは無条件でできるか」「ルール、規則は守れるか」「我慢する、待つ、聞くはできるか」を就学前に実行できるようにしておくことが大切とのお話が印象に残りました。

就学時健診では、4人の校医の先生（内科・眼科・耳鼻科・歯科）が来校して園児たちを診てくださいます。それ以外の健診（視力・聴力・知能検査）は、教員が行います。園児たちを前に先生方も緊張気味。特に若い男の先生は、小さい子を怖がらせないように、いつも以上に優しく丁寧に対応します。その様子はどこかユーモラスで微笑ましい。観ていて心が温かくなってきます。入学説明会では、会の最後に代表委員会が作成した「学校紹介ビデオ」が流れました。これは本校の5・6年生の代表委員が作ったオリジナルビデオです。実際の学校の様子や子供たちのインタビューが流れると、会場にほっとした空気が流れました。初めてお子様を入学させる保護者にとって、安心できる内容になっていたようで、代表委員が「いい仕事」をしたと思います。

健診で、園児の皆さんと対応した校医先生や教員は「すごく素直でいい子たち」と口を揃えて言っていました。優秀な1年生に間違いなしです。来年の春、みんなが入学してくるのを待っていますよ。

